

危機管理産業展2017 基本レイアウト（案） 通路を隔てた場合

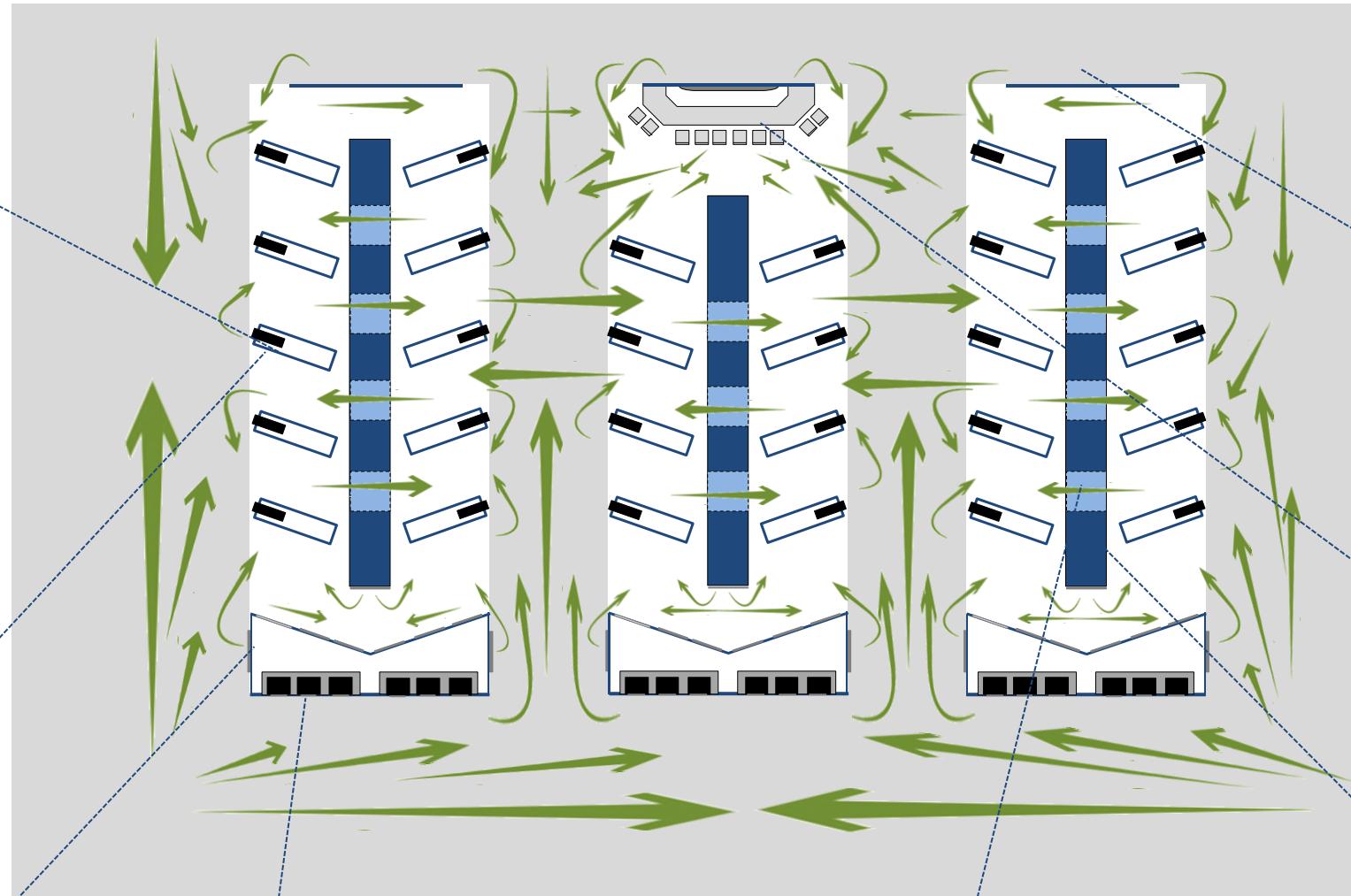
～ 先進的防災技術実用化支援事業 ～



- 着座形式をやめ、製品説明台とモニターを設置し、商談を促進。隣のブースとの一体感を演出



- 小間奥の企業も見渡せるよう個別ブースを斜めに配置



- ブース裏面はシンプルで品を感じるデザイン

カフェスペース

- 中央奥ブースに人の流れを創出
- リラックスしながら商談できる場の提供



- 壁面モニターの動きで正面展示や出展企業への興味を誘発



- 来場者の興味を引くため正面に製品を展示



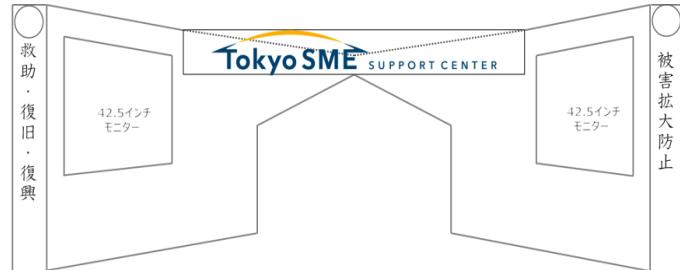
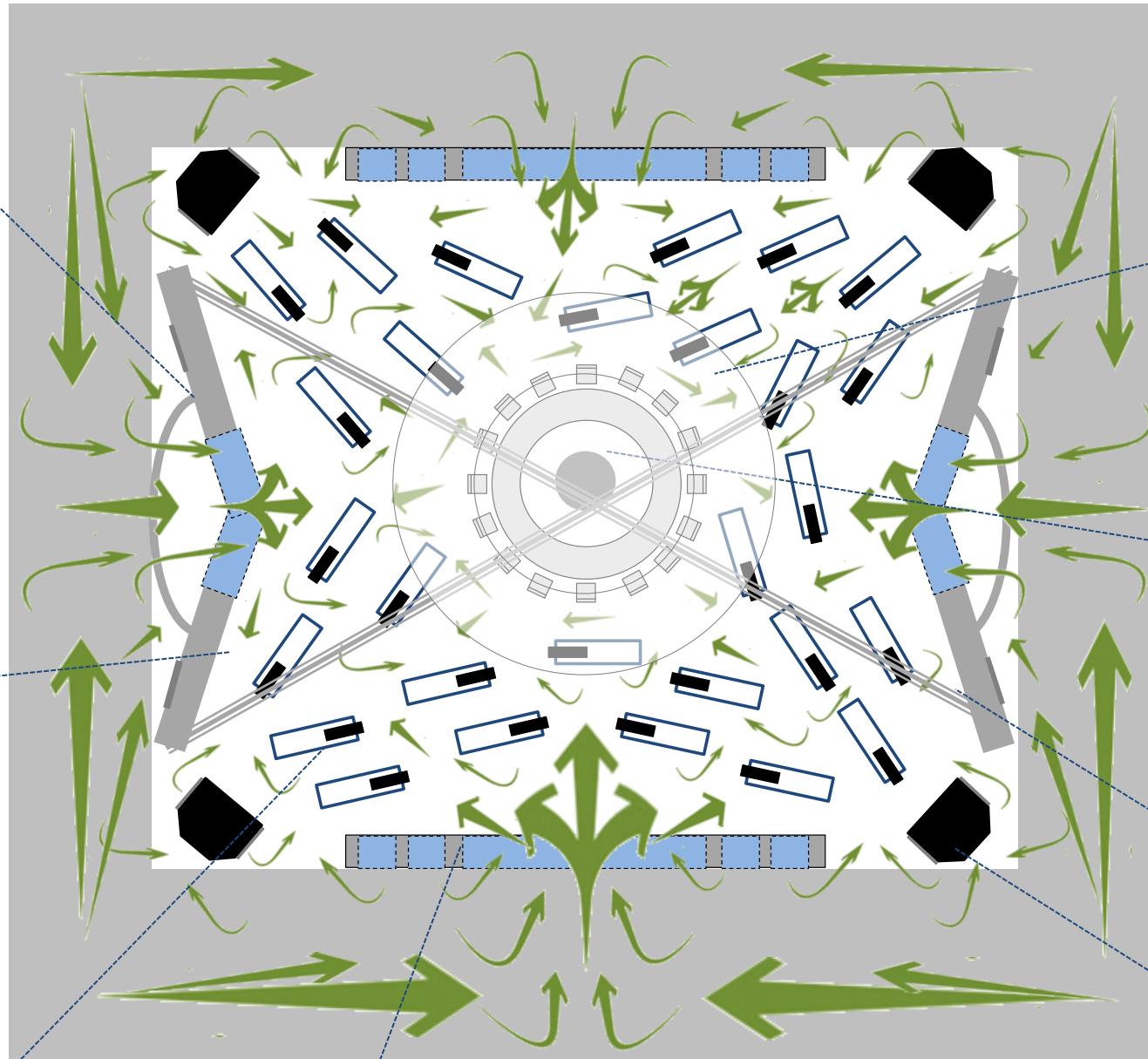
- 横方向の動線を確保し、小間の回遊性を向上
- 空きスペースに企業のキャッチコピー



- トンネル例

危機管理産業展2017 基本レイアウト（案） 通路を隔てない場合

～ 先進的防災技術実用化支援事業 ～



●側面は、半円アーチ、ゲート、動画を備え訴求力を向上



●バルーン活用による訴求力向上



カフェスペース

●中央のカフェで、奥まで集客し、小間全体に来場者を分散



●スポットライトで明るさを確保

●裏面のPRスペースにより小間内の滞留時間を確保

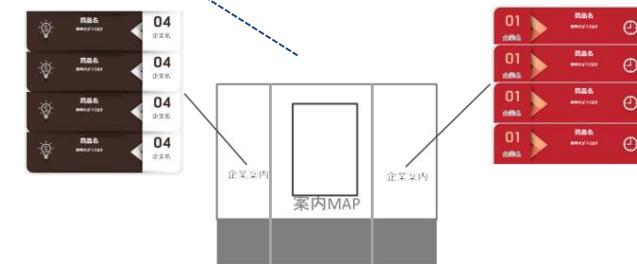
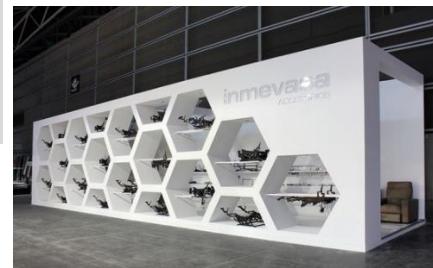


●製品説明台とモニターで小間全体の解放感や、一体感を演出



●正面は、製品展示とゲートを設け、来場者の関心を集め、小間内へ誘導

製品展示イメージ



●死角となりやすい角にブースマップと企業名を掲示し、左右はパネル掲示。内部はストックヤード